

Title	第二言語習得過程における言語活動の意義と記憶の関係 : EFL 環境におけるクラスルーム事例研究
Author	鳥羽, 素子
Citation	言語情報学研究. 15 巻, p.27-39.
Issue Date	2019-03-20
ISSN	1349-9319
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	Publisher
Publisher	大阪市立大学文学研究科言語情報学会
Description	
DOI	10.24544/ocu.20191222-001

Placed on: Osaka City University

Osaka Metropolitan University

第二言語習得過程における言語活動の意義と記憶の関係 ー EFL 環境におけるクラスルーム事例研究ー

鳥羽素子

1.はじめに

グローバル時代を迎え自分の意思や思いを英語で相手に伝えるコミュニケーション能力が求められている。2020年度からの次期学習指導要領では、小学校での外国語活動の対象が現行の小学5年生以上から3年生以上に前倒しされ、5・6年生では、成績評価が伴われる。また、入試においても、2020年度から大学入試共通テストと民間試験が併用されることが決まっている。民間試験を大学入試に使用する場合は、いつ何度でも受験可能ではなく、期間は高校3年時4月から12月の間2回までと制限されている。高校生の中には、「2年生の終わりまでに試験に対応できる英語力をつけるのは大変だ。」という声も多い（2017年7月20日読売新聞）。このような時代の流れを背景に、高等学校の教育現場でも英語の4技能が重視されるのは当然時代の流れに沿っており、学校の英語教育が過度に民間試験への対策のみに偏りすぎることなく4技能をバランスよく習得していけるよう指導力強化や授業づくりの工夫が求められている。

しかしながら、2015年にベネッセコーポレーションが実施している「中高の英語指導に関する実態」調査では、「発音練習」「文法指導」「教科書の音読」に関しては中学・高等学校共に授業内指導において上位を占めている一方で、「生徒同士による英語での会話」「気持ちや考えを英語で話す」「スピーチ・プレゼンテーション」などの「話す」「書く」の活動の実施率は依然低いことが明らかにされている。これらの調査結果から、学習者が学習したスキルを授業内で運用・練習する機会を十分に持てていないことが示唆される。文部科学省が平成30年7月に発表した高等学校学習指導要領解説（外国語編・英語編）では、高等学校の授業において、依然として外国語によるコミュニケーション能力の育成を意識した「話すこと」「書くこと」などの言語活動が適切に行われていないこと、「やり取り」や「即興性」を意識した言語活動が十分ではないことが指摘されている。このような課題を踏まえ、「外国語の学習においては、語彙や文法等の個別の知識がどれだけ身に付いたかに主眼が置かれるのではなく、児童生徒の学びの過程全体を通して、知識・技能が、実際のコミュニケーションにおいて活用され、繰り返し思考・判断・表現することを通して獲得され、学習内容の理解が深まるなど、資質・能力が相互に関係し合いながら育成されることが必要である。」と目標の改善に関する趣旨が記載されている。

本稿では、前述の学習指導要領解説の「児童生徒の学びの過程を通して、繰り返し思考・判断・表現することで知識・技能が獲得される。」という箇所主眼を置き、アウトプット活動を積極的に取り入れることの授業実践の意義について、記憶との関係性から考察を深める。

2.学習過程におけるアウトプットの役割

言語知識として定着する表現能力は、学習者が日々の言語運用の中で繰り返し使用した結果、“無意識”

の内に身についていくものであると示唆されている。第二言語習得理論において、インプット仮説を提唱したKrashen(1989)は、「アウトプットは第二言語習得の結果にすぎない。」と指摘している。しかしながら、アウトプット仮説を提唱したSwain(1995)は、言語習得の発達過程におけるアウトプットの重要性を唱えている。Swain (1995) は、第二言語習得過程におけるアウトプットの役割を主に次の観点から主張している。第1点目として、アウトプットは学習者の“気づき (noticing)”を促進させる。つまり、目標とする言語を用いてアウトプットすることで、学習者は彼らが言いたいことと言えることにはギャップがあることに“気づく”ようになるのである。アウトプット活動を積極的に導入することは、学習者が言いたくても言えないことに対しても、より“意識して(consciously)”いくことにもつながるとの指摘もある。Swain and Lapkin (1994) は、アウトプットの処理過程で学習者が問題に直面した際の思考過程を明らかにするため、思考表出法 (think-aloud procedures)に基づいて学習者の気づきをまとめている。その結果、半数以上の学習者がアウトプットの過程において、“文法的な形式”に関する疑問点や問題点に気づきながら、処理を遂行していることが明らかにされている。Swain(1995) は、「メタ言語機能」の観点からもアウトプットの役割を挙げている。メタ言語とは、対象言語の構造等について、より高い次元から自身で考えることをいう。つまりアウトプットすることによって、学習者が対象言語についてより「意識」することの意義を指摘している。コミュニケーションの過程において、学習者は「意味」処理を行うわけであるが、そのためには言語の「形式」処理も並列して処理しなければならない。インプット処理の過程と比較した場合においても、アウトプット処理過程の方が、学習者の意識が言語の「形式」にもより向けられることによってメタ言語の機能が作動するというわけである。

井狩(2012)では母語獲得の過程と異なり、第二言語習得学習における「意識的な処理」の重要性を指摘している。つまり、「意識的な処理」のもとでの日々の学習が、将来的に「無意識的な処理」による言語運用能力の育成に繋がることの重要性を述べている。また、言語の形式と意味は脳内の別の神経回路で処理されていることに触れ、形式と意味のどちらか一方に重点を置くような指導法に警笛を鳴らしている。例えば、ひらがなを覚えてた幼児が絵本を手にとった時のことを思い浮かべてみる。ひらがな一文字一文字を認識することに意識が必要な段階では、絵本の内容を理解しながら読むということは到底出来ない。けれども、繰り返し何度も同じ絵本を読むことで、徐々にすらすらと読めるようになり、次第に絵本の内容そのものにもより注意が向けられるようになる。これは、何度も同じ絵本を繰り返し読むことによる「意識から無意識」への移行と言える。学習過程における意識的な言語処理の反復が、将来的に無意識による言語処理につながることから、意味や場面を無視したような言語の形式だけに重点をおいた指導は行われるべきではないことがわかる。

3.言語運用と記憶

心理学の分野において、「インスタンス理論 (instance theory)」を提唱した Logan(1988) は具体的な多くの事例に出会い、練習を繰り返すことによって、具体的な事象が記憶表象として蓄積され、その記憶が検索されることによって自動化につながるとしている。つまり、自動性を「どのくらい注意を向けるか」

ではなく、「記憶がどのように利用されるか」「記憶からの検索」という側面に注目している点が大きな特徴である。Logan は、子どもが計算手法を学ぶ過程を例に挙げている。つまり、初期の段階においては、指を折り曲げたりしながら1つずつ足していくことで1ケタの足し算にも非常に時間がかかるが、計算の練習を何度も繰り返すことによって、脳内で足し算をするよりも、記憶からの検索で答えを瞬時に導きだせるようになる。この理論では、次に挙げる3点を強調している。1つめは、ある事象に注意が向けることが、「記憶への符号化」とつながるという点である。2つめは、記憶からの検索という処理過程は、ある事象に注意を向けてきた結果であるとしている。つまり符号化と検索という処理過程は「ある事象に注意した」という点でリンクしていると考えられている。3点目は、刺激や練習に繰り返し直面することこそが、それぞれの情報を符号化し、貯蔵・検索というプロセスにつながるとされている。

ところで、人間の記憶に関しては、宣言的記憶 (declarative knowledge) と手続き記憶に (procedural knowledge) 区分されることが分かっている。宣言的記憶とは、事実に関する「意識的な」記憶であり、手続き的記憶とは、それが「無意識的なレベルまで自動化されている」記憶をいう。Tulving (1972) では、宣言的記憶はさらにエピソード記憶と意味記憶に区分されている。インスタンス理論における最も注目すべき点は、具体的な事例の積み重ねが記憶への符号化につながるとしており、これまでのエピソード記憶や意味記憶を区別するのではなく関連づけられるとしている。さらには事例によるエピソードの積み重ねが、記憶からの検索につながり、「記憶からの検索」を繰り返すことによって、宣言的記憶は手続き的記憶に変わっていくという捉え方であり、両者の記憶を区別していない。この記憶の観点からも、第二言語習得過程における「意識から無意識への流れ」の重要性が示唆される。つまり、指導者は、文脈や場面から切り離された文型や語彙の暗記を学習者に強いるのではなく、宣言的記憶に保存されるように、事象を学習者の興味や関心と関連づけて覚えることが出来るよう注意を払う必要がある。そのためには、文脈や場面を設定して自然な英会話の流れができるよう意識することが重要になる。また、宣言的記憶に貯蔵された形式知を体得して、高速に処理 (検索) できるように、繰り返し言語使用できるような場面を教室において意識的に設定してあげることが必要不可欠であるといえる。

4. メンタルレキシコンと語彙ネットワーク

母語においても、外国語の運用においても、言語の理解および産出においてはメンタルレキシコン (新内辞書とも呼ばれている語彙情報の集合体) を活性化させて語彙情報を検索する必要がある。このメンタルレキシコンは、記憶の過程の中でも、長期記憶内¹⁾に表象として蓄えられ、宣言的記憶の中の意味記憶²⁾として貯蔵されていると考えられている。前述の Logan (1988) がいう「具体的な多くの事例に出会い、練習を繰り返すことで具体的な事象が記憶表象として蓄積され、その記憶が検索されることによって自動化につながる」という言語運用における「記憶からの検索」の側面からも、学習者が多くの事例に触れ、練習を繰り返すことが重要であることがわかる。

インプット処理にとどまらず、アウトプット活動を伴う練習を積み重ねる学習を進めていくと、概念に基づいて表現の連鎖が構築され、ある文脈や場面に応じた表現形式が活性化すると考えることができる。

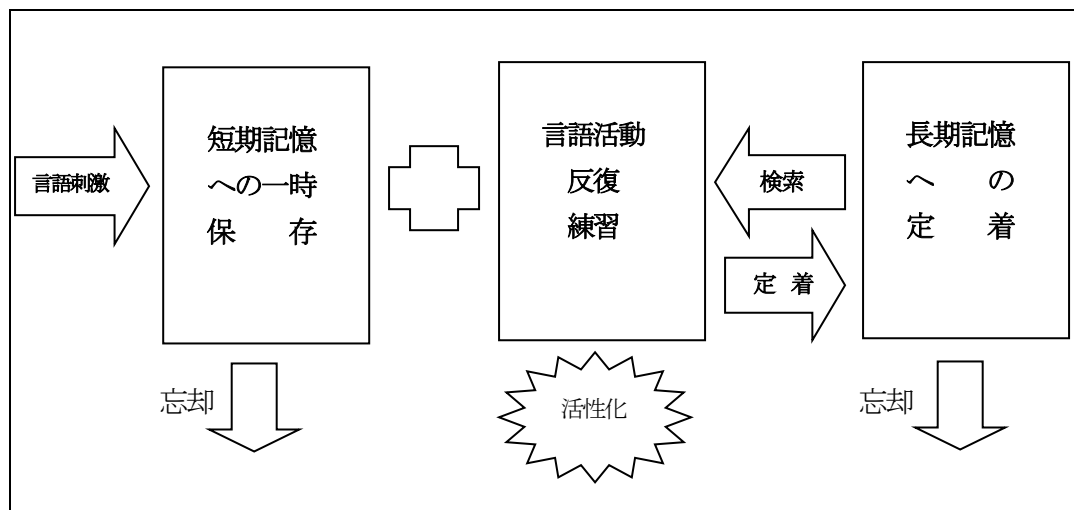


図1：言語習得における記憶モデルに基づいた言語活動の意義の概念図

言語活動の繰り返しによって、状況に応じた表現形式が長期記憶内に記憶されていく。つまり言語活動を導入することで、短期記憶と長期記憶の連携が図られる（図1）。表出の際にはそこから検索され、さらには関連する表現を取捨選択する過程を通して、言語運用を支える語彙のネットワーク網が心内に形成されていくと仮定することができる。日本人英語学習者が脳内にどのような語彙のネットワーク網を構築しているのかについて焦点をあて検証を試みた先行研究においては、語彙連想課題において名詞語の連想だけでなく統語的なネットワーク網（名詞+動詞、動詞+名詞、形容詞+名詞等）を用いて瞬時に語想起ができる学習者ほど、英語のフリーライティング課題の総語数においても有意であるという検証結果が得られている（鳥羽, 2016）。この結果は、語彙表現が「ひとかたまりの語彙チャンク」として長期記憶内に蓄えられていることを示唆している。また、鳥羽（2017）においては、初級レベルの日本人英語学習者公立中学校1年生を対象に、実証研究を実施した結果、「語彙チャンク」を用いた言語活動に長期的に取り組んだ学習者は、言語活動の時間を持たなかった学習者と比較して、スピーキングにおける総語数が有意に多いという結果も得られている。さらには、スピーキング内で用いる語彙チャンク数も有意に多いことが明らかにされている。これらの結果は、意識的に言語活動に従事している学習者ほど、メンタルレキシコン内に記憶している語彙チャンクを用いて言語運用を行っていることが示唆される。

5.研究目的

本研究では、日本の国立高等専門学校の「Listening & Speaking」の英語授業内において、言語活動を積極的に取り入れることで、学習者の語彙ネットワーク網にどのような変化が見られるのかという点を語彙連想課題を取り入れることで実証的に検証する。

5.1 参加者

参加者は、国立高等専門学校の1年生 35 名を対象とした。1 年生の段階から、工学・技術系の専門教科の授業も多く、実践的技術者を養成することを目的とした教育機関で学ぶ学生は、理数系を得意教科とする一方で、英語に苦手意識を持つ学生も非常に多い。1 年生の英語の授業に関しては、英語 IA（長文読解）、英語 1B（英文法）、Listening & Speaking の 3 種類の必須授業がそれぞれ週に 1 回（90 分授業）実施されている。本研究は、Listening & Speaking の授業内において実施された。

5.2 手順と方法

対象となる高校生は、Listening & Speaking の授業において、毎時様々なシチュエーションの場面が設定され、プリ・リスニング→内容理解→会話練習→言語活動→ポスト・リスニングという一連の流れに沿って、英語の授業に取り込んでいる。毎時プリ・リスニング前と各単元終了の 2 週間後には、語彙連想課題に取り組むことで、学習者の脳内における語彙ネットワーク網の変化を確認する。本研究は、「Music」の単元を分析対象とする。授業内で使用するハンドアウトは毎時インプットからアウトプットへの流れを意識して筆者が作成している(Appendix A, B 参照)。

指導者が毎時の授業で意識している点は以下の通りである。

- ・学習目標を設定し学習者に伝え、プリ・リスニングとポスト・リスニングの機会を与え、言語理解における学習者の気づきを促す。
- ・言語の形式と意味をあわせて指導できるよう、学習場面を設定し、言語使用を通して形式も意識に上らせる。
- ・リスニングで触れた表現の定着を図るために、パートナーとの会話練習の時間を設ける。
- ・表現の定着を図るために、表現形式を用いた言語活動を積極的に行うことで、自分の意見や考えを英語で表現できるようにする。

5.3 結果

本研究では毎時単元導入前と各単元終了の 2 週間後に、学習者に語彙連想課題に取り組ませることで、学習者の脳内における語彙ネットワーク網の事前事後の変化を確認した。語彙連想課題は事前・事後ともに 2 分の時間制限を設定し、提示された刺激語をもとに脳内で想起された可能な限りの多くの語やフレーズ、英文を英語で書き出すことが学習者に指示された。以下は、参加者の単元（トピック：Music）導入前後の語彙連想課題の結果である。空白の箇所は、その学習者は 2 分間の内に何も想起できなかったことを表している。

	プリ・リスニング前	「音楽」に関しての単元終了 2 週間後
1		EDM, pop, I like Electro Dance Music.
2		popular music, I'm into pop. ,Electronics Dance Music

3	live	PV, lyrics are good., learning language, popular music
4		pop, EDM, hip-hop, math ability, hooked on ,
5	CD	awesome, epic, lyrics, I'm crazy about rock., be into, upbeat music, the song touched my heart., can't get enough of, cheers me up, impressive,
6	sing, singer	pop, j-pop, melody, into, EDM, rock, music, my favorite singer is ,
7	"narrative" is my favorite song. , film	My favorite song is "narrative" sung by Lisa, who is from Gifu prefecture. I have three reasons. First, the song is cool. Second, I can't get enough of the song. Third, the song was made for my favorite film. That's why I really love this song.
8	sing, singer, CD	I'm into pop. Favorite song , EDM , rock
9		EDM, my favorite singer, upbeat
10		cool, I'm into.
11	listening, jazz, hip hop, CD, radio, singer, dancer, make	What kind of music are you into? , I'm into j-pop., EDM, Why do you like the dong? , I like upbeat music.
12	drum, guitar	His lyrics make me cry., USA, I'm into, I'm crazy about,
13	piano	my favorite song, melody, This song touched my heart.
14		It's awesome., This song touched my heart., EDM, jazz, hip-hop, my favorite singer is, I'm into,
15	beautiful, now,	Guitar, j-pop, k-pop, I'm into, I'm crazy about, Electronics Dance music, I'm hooked on
16		sing, song, singer, lyrics, be into , performer
17	CD, iphone	CD, iphone, EDM
18		I'm into j-pop.
19	amazarashi	My favorite genre is j-pop. My favorite singer is "amazarashi". The vocal is Akita Hiroma, who is from Aomori. I'm hooked on their songs.
20	school festival, I study music in school.	be into, crazy about, hooked on, addicted to, It's because, , who, help with
21		I'm so into , I'm really into
22	rock, CD, piano	EDM, country, be crazy, be hooked, R&B

23		It always inspires me. I'm so into pop music.
24		I like upbeat songs. I'm into pop.
25	list,	Electronics Dance Music, melody, PV=promotion video, inspire, J-pop, Music helps them with studying math.
26	sing, instrument	The song inspires me., pop, lyrics are good.
27		be into, crazy
28	exciting, listen	be into, be addicted to, crazy, upbeat music, fun, favorite songs
29		It's awesome, pop, R&B, hip-hop, I'm into pop and EDM.
30	楽器, 演奏する	into, so into, really into , EDM
31	iphone8	PV, cool, favorite music is
32	beautiful song	I'm into the song., hooked on, His lyrics make me happy., The song touched my heart. ,
33	Osamu, Remember	My favorite song is., I was addicted to the song., I'm into the song., I'm crazy about the song. I'm so into the song.
34	interesting, exciting, enjoy, beautiful	It cheers me up., My favorite song is "Banzai". J-pop, popular music, into, be crazy about, Yes and no., It depends., be hooked on, be addicted to , k-pop
35	レゲエ, ロック	PV, cool, learning , popular music, lyrics are nice.,

表 1：単元導入前後における各学習者の語想起結果

5.4 考察とまとめ

表 1 の結果から、単元導入前においては 3 分の 1 の学習者は、"Music" という刺激語に対して何一つ語の想起が出来ていないことを表している。つまり、"Music" に関して言えば、心内に英語による語彙ネットワークが構築できていない。また、語彙連想課題に対して何らかの語彙を表出できた学習者もそのほとんどが一語レベルの名詞の想起であり、文レベルでの想起ができていたのは 2 名にすぎない。その一方で、単元終了から 2 週間が経過した時点での語彙連想課題においては、参加したすべての学生が語彙レベル、チャンクレベルで語想起を行っており、3 分の 1 以上の学習者が言語活動で用いた英文を正確に「記憶から検索」できている。個人差はあるものの、単元終了後は "Music" に関して言えば、語彙のネットワークをわずかに構築できたといえる。また、この単元においては 2 種類のハンドアウトを授業内に活用した。AppendixA は、リスニングの内容理解の定着を図ることを意図して、パートナーとの会話練習の時間に、そのスクリプトを用いて会話練習を行ったものである。AppendixB に関しては、音楽に関して自分の意見や考えを英語で表現できるようにすることを意図し、クラスメートとの言語活動に使用した。単元終了後の語彙連想課題の結果から、リスニングのスクリプトを利用した受身的で単調な活動になりやすい会話練

習での表現はほとんど想起されていないことが明らかであった。つまり学習者の記憶に残っていないことが窺える。その一方で、自分自身の意見や考えをもとにして言語活動で用いた AppendixB の表現に関しては、多くの学習者が正確に記憶から検索して表出できている。この結果は、井狩(2012)において指摘されている記憶に結びつきやすい学習方法を裏づける結果となっている。つまり、覚えたいことに興味を持つ、感情を伴って覚える、事象を関連づけて覚えるという要素が組み込まれていると、学習者の記憶に残りやすいことを立証している。

学習者が学びの過程を通して、繰り返し表現を積み重ねることで知識や表現を記憶していくためには、指導者側の授業実践における配慮や工夫は欠かせない。文脈や場面を設定した言語活動の積極的な導入は、言語運用を支える心内の語彙ネットワーク網の促進につながることを示唆される。学習者が、語彙(意味)と形式が融合した表現形式を瞬時に検索して言語産出を促進していくことができるような工夫を日々の授業の中に取り入れていく工夫が指導者側に求められている。EFL環境における第二言語習得においては、このような意識的な言語活動の取り組みが学習者の言語運用能力を促進する一助となるのではなかろうか。

(注)

- 1.ほぼ無限の容量をもつ、永続的な記憶のことである(心理学辞典, 1999)。
- 2.言語や概念などの一般的知識としての記憶のことである(心理学辞典, 1999)。

参考文献

- 井狩幸男.(2009).『生きたことばを習得するための英語教育―母語獲得と脳科学の研究成果を踏まえて―』
「博士論文」大阪市立大学.
- 井狩幸男.(2012).「第7章 関連領域からの示唆」岡英夫・金森強(編)『小学校外国語活動の進め方「ことばの教育」として』pp. 50-57.
- 鳥羽素子.(2016). 「日本人英語学習者の語彙連想とライティング力との関係」『都市文化研究』第18号,pp46-57.
- 鳥羽素子.(2017). 「チャンクの定着を意識した言語活動が日本人初級英語学習者の文産出にもたらす効果」『言語情報学研究』, pp31-39.
- ベネッセ・コーポレーション.(2015). 中高の英語指導に関する実態調査.
<https://berd.benesse.jp/global/research/detail1.php?id=4776>
- 文部科学省.(2018). 高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/07/13/1407073_09.pdf
- Krashen, S. D. (1989). *Principles and Practice in Second Language Acquisition*. Elsevier.
- Logan, G. D. (1988). Toward an Instance Theory of Automatization. *Psychological Review*, 4, 492-527

Swain, M., & Lapkin, S. (1994). Problems in output and the cognitive process they generate :A step towards second language learnig. *Applied Linguistics*, 16(3), 371-391.

Swain, M. (1995). *Three functions of output in second language learning*. In G. Cook & B. Seidlhofer (ed.) Principle & practice in applied linguistics, pp.125-44.

Tulving, E. (1972). *Episodic and Semantic Memory*. In E. Tulving & W. Donaldson (Eds.),
Organization of Memory. New York: Academio Press.

AppendixA

Handout 5 for your 2nd semester final examination

Class () No () Name()

Today's Goal: Listen to the conversation about music ,and practice them yourself with your partner.

Today's topic: music

Pre-listening (music)

1.Dictation: Yoshi and Matt are walking downtown. Listen to the first part of their conversation. Fill in the missing words.

Yoshi: Just a (), Matt. Look at that street performer.

Matt: Wow, he's playing the guitar and the drums.

Yoshi: While (). That must be ().

I think he's selling CDs.

Matt: Are there () like that in Japan?

Yoshi: Some. () just sing. They might play the guitar, too.

2. Comprehension check

Now listen to the whole conversation and answer the questions.

1. What will Matt do?

A: Buy a music CD B: Sing with the performer C: Ask about the drums D: Give someone money

2. What does Yoshi say?

A: The musician plays well. B: He knows a Japanese singer.

C: The guitar is from Japan. D: Street performing is easy.

3. According to Yoshi, what do Japanese street performers want?

A: To sell CDs

B: To get experience

C: To meet fans

D: To test guitars

3. Script

Yoshi: Just a (). Matt: ちょっと待ってよ。マツト。

Look at that street performer. あのストリートパフォーマーをみてごらん。

Matt: Wow, he's playing the guitar and the drums. すご！ギターとドラムを一人で演奏してる。

Yoshi: While (). 歌を歌いながらだよ。

That must be (). あれは難しいことかいぞい。

I think he's selling CDs. 彼はCDを売っているんだと思う。

Matt: Are there () like that in Japan? 日本にはあのような人がいる？

Yoshi: Some. () just sing. 多少は。たいていは歌うだけだよ。

They might play the guitar, too. ギターを弾くことはあるかもね。

Matt: Where do they play? どこで演奏するの？

Yoshi: near train stations. 駅の近くだよ。

It's a way to get experience. それは経験を積むための一つの方法なんだ。

Matt: That makes sense. Can you wait a minute? なるほど(わかる)。ちょっと待ってくれる？

I want to give him a tip. 彼にチップをあげたいんだ。

Yoshi: Sure. Are you going to buy his CD? いいよ。彼のCD買うの？

Matt: Nah, I'll just give him a dollar. いいやー。ただ1ドルあげるだけ。

Yoshi: Tell him he sounds great. 彼に素晴らしい(ように思う, ような)演奏と伝えてね。

★homework task ★ Let me know the number of times you practice every day.

家庭でしっかり音読みして下さい。音読みした回数を意識して↓に入れてきてください。

--	--	--	--	--	--	--

AppendixB

Handout6 for your 2nd semester final examination Class () No() Name()

Today Goal: you communicate with your partner, and then you can express your opinions about music.

1 音楽について、英語で流暢に質問や意見が言えるようになるう

Q1: You always have your headphones on. いつもヘッドフォンしてるね。

What kind of music genre are you into? どんなタイプの音楽にはまっているの?

A1: Anything, but recently, I'm into J-pop. How about you? 何でも。最近はJポップかな。君は?

You()

pop / hip-hop / R&B / EDM(Electro Dance Music) / rock / country / jazz / house / Enka / reggae / classic

I'm into ~ (〜にはまる) / I'm crazy about / I'm hooked on / I'm addicted to

: Who is your favorite band or singer?

A1: My favorite singer is Ed Sheeran, who is from England.

My favorite singer is Taylor Swift, who is from the USA.

You()

Q3: What is your favorite music (song)?

A1: My favorite song is "heal the world" by Michael Jackson.

I'm addicted to "What do I know?" by Ed Sheeran lately.

You ()

Q4: Why do you like the song (music)?

理由の例) It's awesome. (素晴らしいからさ) / The music is cool(epic). (かっこいいからさ!) /

His lyrics make me cry. (歌詞が泣けるからさ) / This song touched my heart. (感動したからさ)

It's impressive music. (とても感動的な曲だからさ) / I can't get enough of the song. (飽きないからさ) It cheers me up when I'm down. (おちこんでいる時元気づけてくれるからさ) / Her PV(Promotion Video) is so cool(彼女のPVとつてもかっこいいの。) / I like upbeat (または groovy) music. のりのりな曲が好きなのさ

You① ()

You② ()

Q5 : Should every child study music? 子どもは音楽を学ぶべきだと思いますか?

A1: I think so. It can help them with math and other subjects. はい。数学や他教科の科目に役立ちます。

A2: Yes, if they want to. It should be their choice. かれらがしたければ。本人が選ぶべきことです。

You: ()

2. ♪ The list of My favorite songs ♪

	song	Singer	Genre	from
#1	Heal the world	Michael Jackson	pop	America
#2	You are not alone	Michael Jackson	pop	America
#3	Just you and I	Namie Amuro	j-pop	Okinawa, Japan
#4	What do I know?	Ed Sheeran	pop	England
#5	The lucky one	Taylor Swift	country	America

♪ The list of your favorite songs ☆ジャンルは左ページの Q1 を参考に入れる♪

	song	Singer	Genre	from
#1				
#2				
#3				
#4				
#5				

3. Have a conversation with your partner! Please enjoy talking with five classmates.

Q1: You always have your headphones on. What kind of music genre are you into?

A1 : ()

Q2: Who is your favorite band or singer?

A2 : ()

Q3: What is your favorite music (song) ?

A3 : ()

Q4: Why do you like the song(music)?

A4 : ()

Q5 : Should every child study music?

A5 : ()

裏へ続く